

# 環境

No.316

**特集**

環の国・おかやま ing

**「さあ始めよう! エコライフ」**

岡山大学教育学部附属小学校

**知って納得! なるほど! 岡山県環境保全事業団**

岡山県地球温暖化防止活動推進センター

**Let's Go 体験隊!!**

平成16年度 事業計画

岡山の昆虫

「岡山県野生生物目録(2003)」

一般販売のお知らせ

INFORMATION





地球温暖化をはじめ、都市・生活型ともいえる今日の環境問題。その解決のためには、私たちのライフスタイルを変え、社会のみんなで環境の負荷の低減に取り組んでいかなければなりません。未来へと続く持続可能な社会へ、一人ひとりが身近にできることから少しずつ始めると、変革への大きなパワーとなります。岡山県にも、そんな「環の国・おかやま」の実現をめざして活動している人々がたくさんいます。今回は、未来を担う子どもたち。岡山大学教育学部附属小学校6年に組（平成15年度）のエコライフへの取り組みをご紹介します。

調べた！わかった！できることからみんなが実践！

# キッズも始めよう！ エコライフ

「教科の枠を超えて、「未来を拓く」「人と共生する」環境学習」

岡山大学教育学部附属小学校

子どもエコクラブで活動発表、  
伝えたい「エコライフ」の大切さ。

去る2月21日、「第6回子どもエコクラブ in おかやま活動発表会」が、岡山市の三光荘で開かれ、県内の6つのクラブによる活動発表と、かべ新聞による交流が行われました。

その中で、クラス31人全員が子どもエコクラブの会員という岡山大学教育学部附属小学校6年に組の「銀河6」に注目しました。「銀河6」は、「ごみ」「水」「省エネ」の3つのテーマを設けて、エコライフについて学習や活動を行っています。

「銀河6」の代表者3名に聞いてみると、子どもエコクラブの活動は、「なでしこタイム」という授業を通して行われているとのこと。また、かべ新聞には載せきれないけれど、かなり熱心に学習していることが分かりました。

そこで、担任の小山典子先生に、後日、「銀河6」のエコライフへの取り組みについてお聞きすることになりました。



「第6回子どもエコクラブ in おかやま活動発表会」に参加、6年に組の代表3名が活動内容を発表しました。



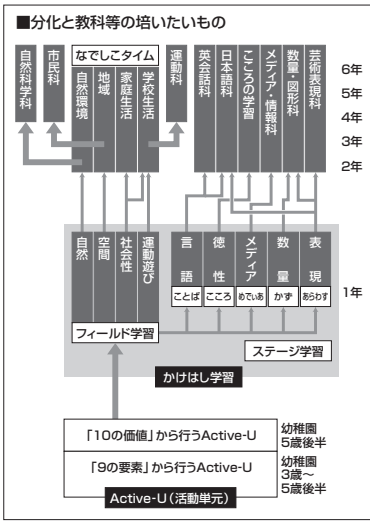
※子どもエコクラブは、小中学生が楽しく環境学習ができるように、環境省（旧環境庁）が、2005年（平成17年度）にスタートさせた環境活動クラブ、全国に約4,300のクラブがあり、約8万2,000人の会員が活動しています。岡山県内には74のクラブがあり、1,710人の会員が活動を行っています（平成15年度末）。

## 教科枠を超えた教科構成で培う、未来を拓く、人と共生する力。

6年に組の教室を訪れると、卒業を前にいろいろなことを頑張っている様子が伝わる掲示物が貼ってあります。正面の黒板の上には「永遠に宇宙で輝け銀河6に」というスローガンが掲げられています。こどもエコクラブの名称「銀河6に」はここから付けられたそうで、なるほど納得。驚いたのが時間割表。「なでしこ」のほか、「自然」「市民」「芸術表現」など、一般的な教科名とずいぶん違うものが並んでいます。

小山先生によると、「なでしこタイム」というのは、「学校生活」「家庭生活」「地域」「自然環境」という領域から、学級の協力、家庭人としての自立、公共の福祉の理念、自然との共生など、「生活をよりよくしようとする実践力」を培う教科なのだそう。

岡山大学教育学部附属小学校は、平成13年度から15年度にかけて、文部科学省の「幼・小のなめらかな接続」の研究開発校に指定され、1年生では、子どもが学びたいと感じられるものを暮らしや環境の中から見つけ、その中から学びを立ち起こしていく「かけはし学習」を行っています。2年生以上では「子ども自身が教科を生み出す体験」を経て、子どもの思考のしかたの発達に沿って、無理なく教科学習に導くことができるようになっていきます。



岡山大学教育学部附属小学校資料より

今回のエコライフについては、幅広い領域から「生活」の中でできるエコライフを調べ

る。「自分ができるエコライフを考え実践していく」の2つをテーマに学習し、実践力を身につけていくことをねらいとしています。



6年に組の教室に貼ってある時間割表。

## 調べる、実践するをテーマに、エコライフに取り組む6年に組。

6年生といえば、身近な環境問題に目が向くようになったり、自分の生活を意識し始める年齢。3学期に入り、「なでしこタイム」で環境問題を取り上げ、生活の中でできるエコライフについての学習が始まりました。

環境問題をみんなで話し合い、「ごみを減らすことは資源を大切にしておくことになるんだな」「排水に気をつけることは水質汚濁を防ぐことになるんだな」「電力消費を減らすことは地球温暖化を防ぐことにつながっていくんだな」と、問題解決に向けての取り組みの意義を確認そして、それぞれ取り組み内容ごとにグループに分かれて活動することになりました。

## 「エコライフ」を調べよう

6年に組のエコライフの学習は、一人ひとりが課題を自覚して、主体的に行動するところから始め、流れを図で示して自分が何をすべきかをしっかりとさせてから行動に移します。その中で、調べたことや分からなかったことをグループの友だちと話し合うなどして、より有意義なものにしていきます。

## 「エコライフ」を調べよう

岡山市立政田小学校 教諭 小山典子  
（元岡山大学教育学部附属小学校6年に組担任）

「今の環境を守る」「地球環境を大切にしよう」と、いろいろな場面で耳にすることが多くなりました。子どもたちも「環境を守ることは必要なことだ」という意識をもっています。

しかし、「実際に地球環境を守るために何をしているのか」と尋ねた時に、自信を持って答えることができる子どもは少ないように思いました。「エコライフ」の授業は、こんな子どもたちに、身近にあることの少しの工夫が「環境に気をつける」ことにつながり、「ほんの少し意識すると簡単にできる」ことがあるというところに気付いてほしい、という願いからスタートしました。

地球環境問題について話し合っていくと、「水質汚染」「ごみ問題」「地球温暖化につながるエネルギーの使いすぎ」などに目が向いてきたので、それぞれのグループに分かれて調べを行いました。インターネットや図書資料、家族の人や環境に詳しい方に来ていただいた聞き取り、実際にリサイクルボックスを置いている店の取材などを中心に調べを進めていきました。

調べていくうちに、新聞や雑誌、ペットボトルやびんなどをリサイクルに出すことの意味や必要性が確認できたり、食器を洗う時に油汚れを拭き取ったり、食べ残しをしないようにしたりすることが環境を大切にしていけることにつながっているということに意識したりすることができました。

学習が進むにつれて、家庭での実践も自的に行われるようになってきました。「水の無駄使いをしないように注意されました」「食器洗いの前に油を拭き取るようになりました」「部屋の電気をこまめに消したり、声をかけたりするようになってきました」など、保護者の方からの声も多くなりました。学習が子どもたちの中で生きていることを実感しました。

そして、「自分たちで頑張るだけでなく、地球のためにより多くの人に意識して「エコライフ」に取り組んでもらうことが大切だ」ということから、調べたことをパンフレットや新聞にまとめて配布したり、「エコライフ」の劇を自分たちで作って保護者の方に見ていただいたりして、呼びかけていく活動も行いました。

授業を終えて、子どもたちの「環境を守る」という言葉には、授業の前と違って「自分ができる少しの工夫から始めることが大切なんだ」という意識が感じられ、自分が行っている活動の意味をしっかりと捉えることができていると思います。



学習の際には、「家でしごカード」を使い、「自分はエコライフについてどんな活動をするのか、その方法は何か」というテーマと「今日のめあて」をはっきりと設定し、自分なりの「エコライフ」を考え、追求したり、まとめたりします。また、「分かったこと」「友だちとのかかわり」をふり返り、「次にしたいこと」を明確にして学習を進めます。



分からないところや調べ方を友だちと教え合います。



インターネットを使って調べる目つきも真剣。

### ●「ごみ減らしグループ」の取り組み

まず、自分たちができる「ごみを増やさない方法にはどんなものがあるか」を調べ、「エコッキングング」「3R」「日用品・粗大ごみ」「衣類」等の項目をあげました。



リサイクルボックスが設置されているスーパーに行って、リサイクルについてインタビューしました。

「3R」について調べるために、実際にスーパーに行ってお店の人に話を聞いたり、トレイの収集箱を見たり、家庭でのリサイクルについて家の人に聞いたりしているうちに、「リサイクルするだけでなく、ごみをもとから出さない工夫はないか」と考えるようになりました。そこで、買い物の際には、詰め替え用を選んだり、袋を持参したり、エコマークの商品を選ぶという「買い物の工夫リスト」を作るようになりました。

※Reduce(発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再生利用)のこと。

### ●「排水を考えるグループ」の取り組み

どうすれば川や海の水質汚濁の原因となる生活排水の汚れを減らせるか、調べ方を考えてみると、「インターネットや本で調べる」ほかに、「実験して調べる」ことも必要となりました。そこでマヨネーズやしょうゆなどがどれくらい水を汚すのか、グループのみんなで水質検査を行い、少量でもかなり汚れることに気付きました。



三角コーナーにパンストをかけて実験。排水中のごみがよく取れることが分かりました。

そして、それらで汚れた排水をきれいにするには、きれいな水の量がどれくらい必要になるのかを本などで調べ、なぜ汚れた排水を流さないようにしないとイケないのかを実感。お皿に残ったマヨネーズなどの汚れを拭き取っておくことやなるべく少ない洗剤で洗うこと、残ったみそ汁なども流さないようにすることが大切であると分かり、家の人にも呼びかける必要性を感じました。

そこで、チェックカードを作って家庭レベルでも取り組みを行っていくなど、どんな活動が広がっていきました。

### ●「省エネルギーグループ」の取り組み

地球温暖化を防ぐ省エネルギーのためにできることについて調べると、家の中では、主に電化製品の省エネルギーについて、普段の生活の中でできそうなことがたくさんありました。そこで、家の人と一緒にできることを実行していくことが必要であると分かり、主電源を切る、暖房の温度に気をつけるといった「省エネチェックリスト」を作り、家庭で



駐車場に停めてある低排出ガスの車がどのくらいあるのか調べています。

実行していきました。また、家の外では、車の省エネルギーについて調べ、家庭でエコドライブや車の利用を減らすことなどを話し合いました。

### ▼中間発表会でグループの活動を発表▲

エコライフについて調べる取り組みがひとくぎりつく頃、中間発表会を開いて、グループごとにお互いに調べたことや取り組みの内容を披露しました。発表する子どもは、発表内容を「自分の取り組み、方法、結果」に整理しておきます。発表の際には自分たちで作成した「省エネチェックリスト」や「家庭で取り組む買い物の工夫リスト」などを見せたり、家庭での取り組みを撮影した写真やグラフを使って分かりやすく説明します。発表を聞く側の子どもたちも、納得の度合いに応じて印を付いたり、参考となる内容を書き留めます。

また、環境カウンセラーの先生に来ていただき、分からないことを質問したり、話を聞く中で、「環境問題は大きなものだけれど、エコライフの小さな取り組みを積み重ねることが意義のあることだ」、「環境を大切にしていくな



中間発表会で調べたことを発表する子どもたち。発表する方も聞く方も真剣です。

家庭で話題になったこと

- 電気や水の消費は、どのよう工夫をすれば節約できるのか、そのように環境の何に効果があるのか、という話題で家族で話し合えるようになった。地球上の限りある資源のことや、一人ひとりの協力する心の大切さについてまで及んだ話題はおもしろかったです。
- 他の家庭では川が汚れないように害の少ない石けんを使用していること、電源を「まめに抜いている」とこと教えてもらって大変参考になりました。
- 風呂の水を洗濯に使っていること、食器の汚れを少なくする食べ方など、今までやっていなかったが実は環境にやさしい、という話を聞いたことがありました。
- 暖房の温度を下げた服を一枚増やせばいい、という話が話題になりました。
- 車に乗っている時に、アイドリングストップについて、エンジン始動にかかるエネルギーの消費とアイドリング中の排気ガス量を考えると、とくに停止したらアイドリングストップした方が環境に良いと話合いました。

家庭で実践したこと

- 捨てる人が中身をきれいに洗ったり、つぶせるものはつぶしたり、まわりのラベルを取ってからリサイクルに出せばリサイクルにかかる費用もだいぶ減ってくる、ということを知った。よくなので、家族全員で気をつけるようにしています。
- 大根の葉を使った炒めもの、前後の晩のおかずの再利用で、捨てるものを減らすこと。
- 煮汁はビニール袋に入れて、ペーパーで吸わせてゴミ箱に捨てた。
- 油を使った時などは、なるべく紙で拭き取り、最小限の洗剤で洗う。その際の紙は、新聞紙とかキッチンペーパー（再生紙）を使う。
- 野菜のゆで汁でお皿を洗っている。
- エアコン（暖房）の温度設定を低めにした。
- テレビの電源や自分の部屋の電気をこまめに切るようになってきた（家族に注意することもあるようになった）。
- 車の利用回数はなかなか減らすことが難しくなりましたが、暖かくなれば自転車、軽自動車の利用回数を増やしたいです。

2

自分ができる「エコ」を覚えて実践しよう！

にも、これからもエコライフに取り組んでいこう」と実践する重要性を認識しました。

家庭や学校でエコライフの活動を続ける中、再度、環境カウンセラーの先生に来ていただき、エコライフに地域レベルで取り組むことの大切さや実際に取り組んでる活動について紹介してもらいました。そして、今まで学習してきたエコライフをこれからの生活でどのように活かしていけばよいのかについてアドバイスを受け、みんなにエコライフを広げよう、という、「エコライフ新聞」を発行してみんなに呼びかけていこう、「こどもエコクラブ」に参加しよう」と、新たな実践活動を企画・実行しました。

その結果、学校生活では、自分たちにできる節水や節電を心がけるようになったり、みんなで「物を大切に使う運動」に取り組むことができました。また、家庭生活でもエコライフへの取り組みを続けてもらえるよう、保護者が集まるクラスのお別れ会を利用して、エコライフの例を伝える劇を発表しました。

エコライフ実践記録	実践内容	感想
①	風呂の水を洗濯に使う	節約できることに驚いた
②	エアコンの温度を下げた服を一枚増やす	暖かくなれば節約できる
③	車のアイドリングストップ	環境にやさしいと知り、実践した

エコライフ実践記録	実践内容	感想
④	食器の汚れを少なくする食べ方	環境にやさしいと知り、実践した
⑤	野菜のゆで汁でお皿を洗う	節約できることに驚いた
⑥	新聞紙やキッチンペーパーを使う	環境にやさしいと知り、実践した

エコライフ実践記録	実践内容	感想
⑦	家族で話し合えるようになった	環境の何に効果があるのか、という話題で家族で話し合えるようになった
⑧	地球上の限りある資源のことや、一人ひとりの協力する心の大切さについてまで及んだ話題	おもしろかったです



環境カウンセラーの先生に、話を聞いたり、質問したりしました。



保護者に伝えようと、お別れ会に自分たちで作ったエコライフの劇を熱演。

豊かな学びの中で、  
変わる子どもたち。

学習前のアンケート調査では（1月9日／30名）、エコライフに取り組んでいる子どもは7名、取り組んでいない子どもは23名という中で始まったエコライフの学習。問題意識を持って主体的に調べたり、友だちとの関わりの中で内容を深めたり、専門家に話を聞く中で、身近にある少しの工夫が「環境に気をつける」ことにつながり、家庭でも自主的に行動ができるようになりました。さらに、他の人にも働きかけることができました。

その結果、学習後の調査では（3月11日／31名）、エコライフに取り組んでいる子どもは31名全員。エコライフは必要だと思ったり子どもは31名全員と大きな成果をあげることができました。

エコライフへの取り組みは、環境にやさしいだけでなく、人の心も人間的で豊かなものになります。エコライフを通して培った「未来を拓き」「人と共生する」力を育んだ子どもたちは、将来大人になっても、きっと地球の未来にとってかけがえのない存在になっていくに違いありません。

# 岡山県地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化を防止するためには、

一人ひとりの毎日の小さな積み重ねが大切です。

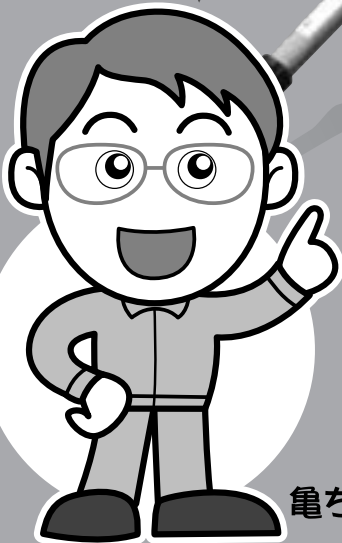
第1回目は、岡山県民のみなさんの地球温暖化防止活動を  
推進・サポートする「岡山県地球温暖化防止活動推進センター」を  
密着取材しました。



# 「自然エネルギーって？」

豊かな自然環境の中で、便利で快適な暮らしを送る私たち。この相反するような自然と便利な生活との調和は、いろいろな所でいろいろな人々が環境の仕事に関わっているからこそ保たれています。新シリーズでは、あまり知られてはいないけれど、いわば縁の下の力持ちともいえる環境を守るいろいろな仕事を紹介していきます。

ヒントは太陽! 自然エネルギーは地球温暖化防止に役立つよ



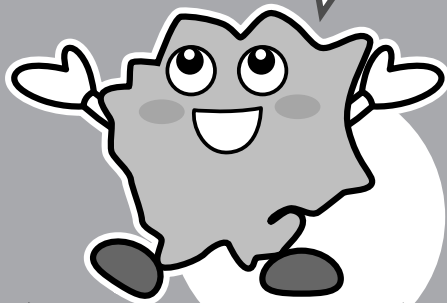
亀ちゃん

「ヒカヒカ光っているね」



Qちゃん

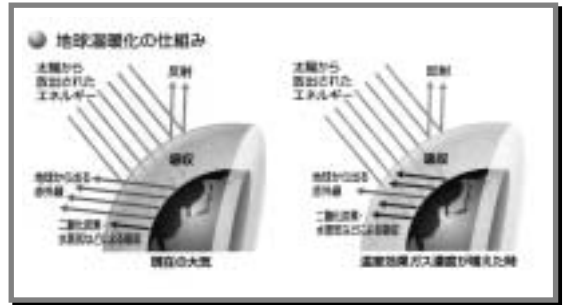
「パラボラアンテナ  
みたいな形だね」



OKaちゃん

## 温室効果ガスとは

地球を包んでいる大気には、太陽からのエネルギーを逃がしたり、受け止めたりしている温室効果ガスという気体（CO<sub>2</sub>、メタン等）が含まれています。この温室効果ガスによって、地表は適度な温度に保たれていますが、大気中の温室効果ガスが増え続けると、熱は外（宇宙）に放出されにくくなり、地球の気温が上昇してしまいます。温室効果ガスの中で最も温暖化への影響が大きいのはCO<sub>2</sub>。近年、化石燃料の消費が増加したことからCO<sub>2</sub>発生量も増加し、地球の温暖化が懸念されています。



財団法人 新エネルギー財団「New Energy Now」より

太陽の運行に合わせて、15~20分に一度、反射鏡の向きを調節してください。

アルミ製パラボラ

●目玉焼き

- 1.油をひいたフライパンに卵を割り、入れます。
- 2.フタをして10分ほどで焼き上がります。お好みに味付けを。

●直径/80cm  
●総重量/4.9kg  
●鍋台地上高(標準)/64cm

集光焦点は晴天で180度位になり、火力はガスの弱火程度です。

銅、フライパンは黒いものがオススメです。(最大21cm) 表面積の大きな器具は放熱を防ぐため、フタをお使いください。

「太陽はすごい! 電気やガスを使わずともお料理ができるんだね。」

「中心にフライパンを置いて、目玉焼きを焼くこともできるんだって。」

**正解は「ソーラークッカー」という調理器具でした!**



「ふうん、どんな仕事をしているの?」

「実は、地球では今、二酸化炭素などの温室効果ガスが増え、温暖化がすすんでいるんだ。このまま放っておくと海面が上昇したり、食料危機や熱帯の病気の北上などが起こると心配されているんだ。その原因をつくっているのは人間のさまざまな活動なんだよ。だから、世界の国々が協力して地球全体で温室効果ガスを減らそうと努力しているんだ。私たちは、国民のみんなが温暖化防止に取り組む手伝いをするために、2002年(平成14年)につくられたんだ」

「どうして『ソーラークッカー』で目玉焼きが焼けるのかな?」

「太陽ってすごいよ。屋根の上にパネルのようなのがあるかな。太陽光発電といって、太陽の光エネルギーを電気に変えて利用しているんだ。ほかにも風力発電など、地球のことを考えたいいろいろなエネルギーの利用や研究が進められているんだよ」

「へえ、そうなんだ。ところであなたは何?」

「私は岡山県地球温暖化防止活動推進センターの亀ちゃんです」

「地球温暖化? 何? センターってなんですか?」



たくさんの人でにぎわうフリーマーケット。



自転車発電をしているところ。



ソーラークッカーで調理しているところ。ゆで卵などを作りました。

「じゃあ、何をしているのか、探ってみようよ」

**みんなに知らせたい、地球温暖化防止の大切さ!**

「ここはどこ?」

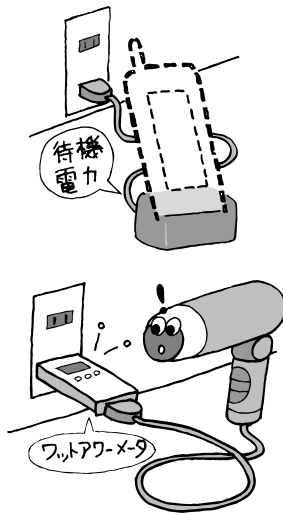
「2003年10月にコンベックス岡山で行われた『エコフェスタおかやま』の会場だよ。地球温暖化防止の大切さをみんなに知ってもらったんだ」

「あつ、さっきのソーラークッカーだよ。でも、ソーラークッカーは太陽が出ていなかったら使えないよね。実際の生活の中では電気やガスがないと困るよ」



エコフェスタの展示コーナー。

「そうだね。だけど、電気やガスは温室効果ガスの二酸化炭素を出すので、使い過ぎないように気をつけたいとけないんだ。電気の場合、『ワットアワーマーター』という器具をコンセントと電気器具の間に取り付けると、どれぐらい電気を使っているか個々に調べられ、省エネに活かせるよ」



「テレビやエアコンをリモコンで消していても、待機電力という電気が流れているんだね。えっ、携帯電話の充電器もそうなんだ!」

「各メーカーも研究をすすめて、待機電力を減らす努力をしているようだよ」

### 地球温暖化を防ぐアースキーパーの活動

「僕たちにも何かできることがあるの?」

「家庭生活でも、一人ひとりが地球温暖化を防ぐライフスタイルに変えていかなければならない。岡山県には『アースキーパーメンバーシップ』という制度があり、温暖化防止に取り組んでいるんだよ」

「アースキーパーって、どんなことをするの?」

「まず、地球温暖化を防ぐいろいろな取り組みの中から、自分でできそうな取り組み目標を3つ選ぶんだ。取り組み目標と

いっても、たとえば『テレビのつけっぱなしをしない』『シャワーのお湯を出しっぱなしにしない』『買い物袋を持参してレジ袋や包装紙を減らす』といった身近にできることばかり。そして、その目標を守りながら暮らしていくというのがアースキーパーの活動なんだよ」

「ふうん、もっと難しいことかと思った」

「へえ、『テレビのつけっぱなしをしない』か、それなら僕にもできそうだな」

「僕もアースキーパーに参加してみようかな」

「それはぜひ!アースキーパーは、環境への意識を持っていてくれるだけでなく、一歩踏み出して身近なだけではないからやっついこう、そしてその輪を広げていこう、というのが基本コンセプトなんだよ。だからみんなが参加してくれることが大切なんだ。一人ひとりの小さな取り組みもたくさんの方がやっていると大きな取り組みになっていくんだ」

## 目標

アイドリグに注意

公共交通機関の利用

テレビのつけっぱなしに注意



「アースキーパーが増えれば増えるほど、地球温暖化が防げるんだね」



### エコカーに乗ってみました!

岡山県地球温暖化防止活動推進センターで使っている車、ハイブリッド自動車に乗ってみました。ハイブリッド自動車は、ガソリンエンジンと電動モーターを組み合わせて効率よく走る低公害・低燃費車です。乗ってみると、一般のガソリン車と全然変わらない走りや乗り心地。前面のパネルで、ガソリンを使っている、蓄電中などの情報が分かるようになっています。



### 京風ショルダー

大きめの木綿のふるしきで、結び目がおしゃれなショルダーバックを作ってみませんか。

1枚の布でさまざまな活用ができるふるしき。日本古来の包む文化の素晴らしさを見直しました。

「アースキーパー学習交流会で「ふるしき講座」が開かれました。」

### アースキーパーの取り組み目標の例

(県民版全部で32項目)

#### 【家庭でのエネルギーの使用の節減】

- 冷暖房機器や照明機器の使用時間を減らします。
- テレビのつけっぱなしをやめます。
- 家電製品を使用しない時は、主電源を切ります。
- エアコンのフィルターや照明器具をこまめに掃除します。
- 冷蔵庫の詰めすぎに注意して冷気の循環をよくします。
- 掃除機は、部屋をかたづけしてから一気にかけてるようにします。
- 食器や野菜を洗う時のお湯・水の出しっぱなしをやめて、使用量を減らします。

#### 【自動車利用の見直し】

- unnecessaryなアイドリングや空ぶかしはしません。
- 経済走行を心がけ、急発進、急加速をしないようにします。
- 近距離は歩くか自転車を使い、車の使用を減らします。

#### 【家庭から出るごみの減量化】

- 過剰包装を避けて、簡易包装にしてもらいます。
- アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、ガラスビン等は分別してリサイクルにまわします。
- リサイクル可能な製品を優先して購入します。

など



### 岡山県中に広がれ！アースキーパーの輪！

「今、何人ぐらいのアースキーパーがいるの？」

「平成14年9月に募集をスタートして、今、県民では2,550人、事業所では150団体、アースキーパーメンバーシップ会員として活動しているよ（平成16年3月末現在）」

「Qちゃんも一緒にアースキーパーになろうよ。ほかにはどんな取り組みの目標があるのかな？ふむふむ、僕ができそうなことは…」

「電気やガスなどの省エネルギーのほかに、自動車からも温室効果ガスの二酸化炭素が出ていますので利用を見直したり、ごみを処理する際の温室効果ガスが出ないようにごみの減量化に取り組むなどいろいろな目標があるよ」

「家族で協力しないといけないこともある

「アースキーパーは、地球（アース）を守る人（キーパー）という意味で、地球の温暖化を防ぐために、自ら環境への影響を減らす取り組みを継続的に行う人たちのことなんだ。つまり、続けてやっていくことが重要になるんだよ。自分ができるような目標を3つ決めて活動を始めたら、その取り組みの状況や目標達成状況がどうだったか半年ごとに報告してもらいたいんだ」

「目標があるとがんばりがいがあるよね」

「みんなであつとつづつ気をつけるだけで地球が守れると思うと、うれしくなるね」

「そう、地球温暖化防止は、みんなを取り組むてことが大切なんだ。アースキーパーをもっと増やして、地球温暖化防止活動の輪を広げていくことも私たちの大事な仕事なんだよ。君たちもおうちの人や知り合いの人に、アースキーパーのことを教えてあげてね」

「はい。アースキーパーっていうのは岡山県独自の制度なんだね。アースキーパーがたくさん増えたら地球が喜ぶし、未来の人も喜ぶよ。みんな、アースキーパーになってね」



### あなたもメンバーになりませんか？

「地球環境のためにあなたができることはなに？」

岡山県内において地球の温暖化を防止するため、省資源や省エネルギーなどに取り組んでいただける県民の方及び事業所をアースキーパーメンバーシップ会員として募集しています（随時受付中）。

募集対象  
岡山県内にお住まいの方及び県内の事業所  
詳細につきましては、下記のホームページをご覧ください。

お問い合わせ・お申し込み先  
岡山県地球温暖化防止活動推進センター  
〒701-0212 岡山市内野665-1 財団法人岡山県環境保全事業団内  
TEL.086-298-1225 FAX.086-298-2496

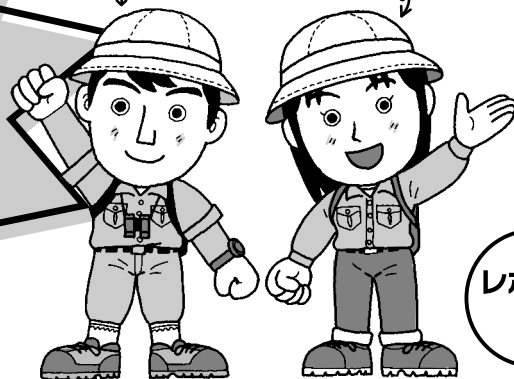
<http://www.kankyo.or.jp>

驚き! 感動! 不思議! 発見!  
行ってみよう! やってみよう!!

Let's Go  
体験隊!!

カンちゃん

キョウちゃん



レポート  
8

## 草木染め・機織り

「この前、わらぼうりを作っていて思ったけど、昔は生活に必要なものは何でも自分たちで作っていたんだね」「すごく手間がかかるし、時間もかかるけど、自然と共存していた頃に少しだけ触れたような気がするね」「うんうん、大変だったけど。その頃の生活を知っておくって、大事なことだよ」「生活に必要なものといえば、衣服はどうしていたのかしら」「今みたいに売ってないから、自分たちで作っていたんだらうね」「全部は体験できなくても、少しでもやってみたいね!」そこで、美星町にある「中世夢が原」にお願いして、草木染めと機織りを体験することになりました。



ソヨゴ (モチノキ科、モチノキ属の常緑高木)

矢掛町から北へ、山あいを行くと、吉備高原の台地のどかな風景がひらけます。こゝ美星町は、美しい星空で全国的にも有名な町。「星」をテーマにしたまちづくりと、1992年(平成4年)にオープンした歴史公園「中世夢が原」を中心に「歴史」をテーマにしたまちづくりが行われています。美星町役場創星課の川上岩男課長にお話を伺うと、「中世夢が原」は、単なる観光施設にとどまらず、地域間交流の場として、さまざまなふれあいの輪を広げているそうです。

### 草木染め

中世夢が原で藍染・機織りを担当されている大鳴初子さんに、特別に草木染めと機織りを教えていただきました。今回、草木染めの染料となるのは、ソヨゴ(冬青)という樹木の葉。岡山県にも多く自生し、園内でもたくさん見られる木です。中世夢が原入口にある「吉備高原神楽民族伝承館」で糸を染めることから草木染めを体験しました。

#### ① 染料の原料を用意する。

ソヨゴの葉を集め、洗って一晩水に浸けておく。

❶ 冬でもきれいな緑色の葉だね。これで染めるとどんな色になるのかな。

#### ② 染液をつくる。

鍋の中に水を入れ、沸騰後、ソヨゴの葉を入れて約20分間煮る。

● ソヨゴの葉をザルで取り除き、できた染液を別の容器に取る。

● 同じソヨゴの葉を使って、同じように3回分の染液を集める。

❷ あれ、緑色の葉を煮たら、煮汁が小豆色のような色になったよ。



#### ③ 染液の中に糸を入れ、煮る。

● 木綿の糸を2総用意し、<sup>※1</sup>豆乳に浸けた後、乾かしておく。

● 乾かしておいた糸を水に浸け、水を含ませる。

● 沸騰した染液の中に糸を入れ、約20分間煮る。

❸ うわあ、白かった糸の色が小豆色になったね。

※1 一定の長さの周囲を有する枠に一定回数巻いてから枠を取りはずし、それを束ねたもの。綿糸では総は768m  
※2 木綿の糸の場合、タンパク質の膜を作っておくと染まりやすい。

#### ④ 媒染液を2種類つくる。

● お湯にミヨウバンを溶かし(約2~3%)、ミヨウバン液をつくる。

● お湯に酢酸銅を溶かし(約3%)、酢酸銅液をつくる。

#### ⑤ 別々に媒染する。

● ③の糸を取り出し、手で絞り、④の各媒染液の中によく浸す。

● それぞれを水で洗ってしぼる。

#### ⑥ さらに染液の中で煮る。

● 染液を2つの鍋に分け、各媒染液に浸した糸を別々に入れて煮る。

※色を濃くしようとする場合は、⑤~⑥の工程をくり返す。



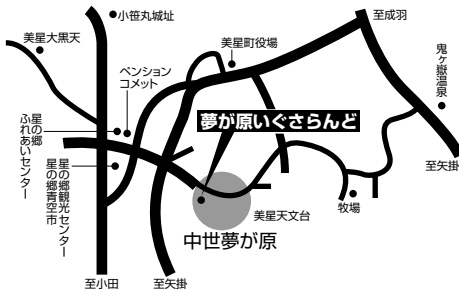
## 中世夢が原

鎌倉時代から室町時代にかけての吉備高原一帯にみられた「むら」の建物や生活風景の様子を、絵巻物や発掘資料をもとに時代考証により再現した歴史公園。五万原の丘陵に広がる10.5haの園内には、生活用具を展示した農家や買い物ができる三斎市、城主が住んだ館や山城など22の建物が点在。予約をすれば、藍染、竹トンボ作り、炭焼き(花炭)、そば打ち、いなか汁、おもちつきの体験ができます。

お問い合わせ

中世夢が原 管理協会

岡山県小田郡美星町大字三山5007 TEL・FAX0866-87-3914



### 機織り

⑦ 水洗いした後、干して乾かす。

⑧ やったー、ソヨゴの葉で小豆色に染まったよ。  
⑨ 2種類の媒染液で濃淡のある糸ができたね。ミヨウバンの方が、淡いピンクがかかった色で草木染めらしいね。



後日、再び美星町を訪れ、大鳴さんに機織りを教えていただきました。機織り機は、昔の民具などを保存している民具庫にあり、栗のイガで染めた黄土色の縦糸がすでにセットされています。横糸となるのは今回、草木染めで染めた小豆色の濃淡2色の糸です。

① 草木染めした糸を芯棒に巻き、杼(シヤトル)の中にセットする。

② 平織りを織る。

4枚の踏み木のうち1番目と3番目を踏むと、縦糸が1本おきに上下になる。

③ できた縦糸の上下の空間の中を右から左へシヤトルを滑らすように通す。

④ 縦糸が上下になった間に横糸を通して、一段ずつ織っていくのね。



④ 木枠を手前にトントンと2回引き寄せ、織り目を整える。

⑤ 足と手の動きを間違えないようにしないこと。

⑤ 踏み木の2番目と4番目を踏むと、今度は縦糸が②と逆に、1本おきに上下になる。

⑥ 木枠を手前にトントンと2回引き寄せる。

⑦ 今度は左から右へ、縦糸が上下になった空間にシヤトルを通す。

木枠を手前に引き寄せ、織り目を整える。

⑧ ②〜⑦をくり返す。



⑨ 違う染め色の糸に変える。

● 織っている糸の端を切り、縦糸の間にくぐらせて糸が抜けないようにする。  
● 違う色の糸の入ったシヤトルをくぐらせ、同じように織っていく。

⑩ 2種類の媒染液で染めた糸の濃淡がきれい。  
⑪ 草木染めの何ともいえない色合いがよいね。

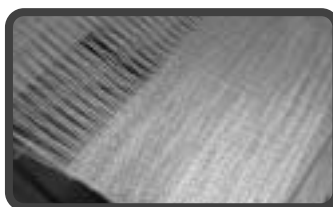
⑩ 綾織を織る。

踏み木を、1番・2番↓  
2番・3番↓3・4番↓  
1番・4番の順番で踏み、横糸を通していく。

⑪ うわあ、すごい。踏み木の順番を変えることなく違った織り方ができるんだね。  
⑫ 平織りと綾織りを組み合わせたら、色の配色を考えると、いろんなデザインができるのね。

⑫ 機織り機から外し、糸の始末をして出来上がり。

⑬ やったー。一段一段織っていくで大変だったけど、布が織れたぞ。



### カンちゃん感想

私にとって「草木染め(藍(蓼科)染め)」という認識しかなかったのですが、「今日はソヨゴ染めをします」と言われた時は、とても新鮮であったと同時に、本当に染まるのかなという心配もありました。ところが、ソヨゴの葉で煮染めした木綿糸が媒染液を介して鮮やかな赤紫色や濃い黒紫色に染まるのを見て、その気持ちも一瞬で吹き飛びました。そのうえ、織り上がった布は色も風合いも素晴らしい、驚きました。

### キヨウちゃん感想

昔ながらの機織り(手織り)を体験してきました。はじめは足踏みと横糸を送る作業がちくちくはぐになつて、なかなか織れなかつたけど、時間が経つにつれ、「スー、トントン」とリズムミカルな機織りの音色を奏でるくらい上手に織れるようになりました(自画自賛)。とにかく2時間集中して織ったので、その後の腰やお尻の痛かったこと。今思えばいい思い出です。

# 平成16年度事業計画

財団法人 岡山県環境保全事業団

平成16年度の事業計画が理事会で承認されましたのでお知らせします。

## 1 公益部門

### (1) 環境保全サービスマス事業

県及び関係機関との密接な連携のもとに、環境保全に関する各種事業を積極的に行います。

#### ア・環境思想高揚運動

- ◎ 情報誌「環境」の発行
- ◎ 野生動物植物調査
- ◎ 環境学習会の開催
- ◎ 花いっぱい運動への協賛
- イ・水質保全推進事業

#### ロ・生活排水対策事業への協力（啓発レビスポットの放映）

- ◎ 児島湖流域環境保全推進月間行事の共催
- ウ・自然保護推進事業

#### エ・自然保護推進事業

- ◎ 緑化募金への協力
- ◎ 緑化推進大会への協賛
- ◎ 緑の少年隊活動への協賛
- エ・大気保全推進事業
- ◎ 光化学オキシダント対策事業への協力（ラジオスポットの放送）
- オ・廃棄物対策推進事業
- ◎ エコフェスタ岡山2004の共催

### (2) 地球温暖化防止活動事業

岡山県地球温暖化防止活動推進センターとして、県からの委託事業の実施を含め、広く

地球温暖化防止対策の普及啓発を図るとともに、推進員などが取り組む地球温暖化防止活動を支援します。

#### ア・啓発・広報事業

- ◎ 地球温暖化防止月間フォーラムの開催
- ◎ 地球温暖化防止活動啓発パンフレット等の作成
- ◎ 普及啓発用資材の整備（図書、ビデオなど）
- イ・地球温暖化防止活動推進員の研修・支援事業

#### ロ・研修会の開催

- ◎ 推進員プロフィール集の作成
- ウ・アースキーパーメンバースhip制度事業
- ◎ 制度の運営
- ◎ 親子学習会の開催



### (3) 循環資源情報提供事業

岡山県循環資源総合情報支援センターとして、県からの委託事業の実施を含め、企業間における循環資源に関する情報を提供するとともに、廃棄物等の有効利用及び適正な処分に資する情報を広く事業者及び県民に提供します。

#### ア・循環資源情報提供システムの運営及び管理事業

行政情報システム、県民情報システムの運営及び管理について県から受託し、実施します。

#### イ・企業情報システムの運営及び管理事業

企業情報システムの運営及び管理を実施するとともに、システム運営委員会を開催します。

#### ウ・企業情報システム機能向上整備事業

企業情報システムの機能向上について検討するとともに、廃棄物の交換マツチング機能について調査・研究します。

#### エ・啓発・広報事業

センター紹介パンフレットを作成するとともに、事業団ホームページに紹介ページを掲載します。

## 2 環境事業部門

県内で発生する産業廃棄物等の適正な処理を推進することにより、地域の環境保全に貢

献するとともに、循環型社会の形成に対応した事業の推進に取り組みます。

### (1) 廃棄物の最終処分事業

#### ア．廃棄物埋立処分

事業所から排出される産業廃棄物等を受け入れ、水島処分場で埋立処分します。引き続き、廃棄物の受け入れ管理等を厳正に実施するとともに、排水処理施設の適正な整備・補修を進めるなど効率的・安定的な運転管理に努めます。

#### イ．公共関与新処分場の建設

公共関与新処分場の建設に向けて、県と連携を図りながら環境影響評価法、公有水面埋立法、廃棄物処理法等に基づく諸手続・諸準備を進めます。

### (2) 産業廃棄物中間処理事業（水島クリーンセンター）

下水汚泥等を廃プラスチック類と混合して燃焼し、廃棄物の減容化・安定化を図るとともに、廃熱を活用して発電し、エネルギーの有効活用を行います。本年度は、下水汚泥等の受入量の増大に対応するため、稼働時間を延長するとともに施設の整備補修を進め、廃プラスチック類の混焼による効率的・安定的な操業管理に努めます。

### (3) 資源化物選別施設管理運営事業

倉敷市資源選別所の管理運営を効率的に行い、資源の有効利用に貢献します。

### (4) 廃棄物の適正処理に関する検討

循環型社会の形成に対応した廃棄物の適正処理の推進に係る検討を進めます。

昨年度に引き続き、埋立困難な汚泥等の前処理として、ばいじん等を活用した固形化の実証試験などを行い、事業化の可能性の検討

を行います。

## 3 緑化部門

緑化事業を通じ、豊かな緑の保全と創造を推進します。また、公共建設残土センター事業の実施により、循環型社会の形成に取り組みます。

### (1) 緑化工事設計施工監督事業

道路・公園・学校等公共施設の緑化事業を中心に受託実施します。

### (2) 道路緑地等維持管理事業

### (3) 公共建設残土センター管理運営事業

搬入残土量の確保や運営方法について県と協議しながら、適正な管理運営に努めます。また、新残土センター（ストックヤード方式）の造成については、県と協力しながら検討します。



## 4 環境調査部門

行政機関や民間事業所等からの各種環境試料の測定分析、環境アセスメント及び環境大気監視測定局の保守管理等の需要に的確かつ

迅速に対応するとともに、一層の技術水準の向上や効率的な業務実施に努めます。

### (1) 環境計量証明事業

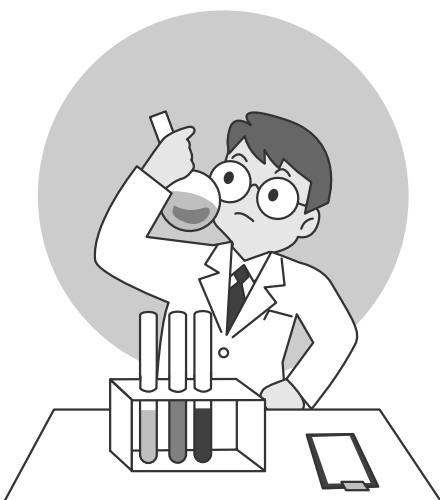
水質、土壌、底質、産業廃棄物、環境大気及び排ガス等についての測定分析業務を受託実施します。本年度は、指定・登録されている「土壌汚染対策法に係る土壌調査指定機関」及び「ダイオキシン類に係る特定計量証明事業所」業務について一層の適正かつ厳正な運営を図るとともに、重点分野と位置づけている廃棄物分析及び微量分析分野をはじめ、環境計量証明事業に対する社会的信頼の更なる確保に努めます。

### (2) 環境アセスメント事業

アセスメント対象事業は引き続き低調ではあるが、昨年に引き続き公共関与新処分場アセスを実施するほか、その他のアセス事後調査や生活環境・自然環境等に係る各種調査業務の受託実施に努めるとともに、新たな業務拡大にも積極的に取り組みます。

### (3) 環境大気監視測定局保守管理事業

岡山県、岡山市、玉野市、備前市、笠岡市及び邑久町が設置している大気測定局の保守管理業務を引き続き受託実施します。



# シロヘリハンミョウ

No.107



体長9〜12mm。体背面は緑〜黒色。上翅の側縁部と翅端は細く白く縁取られる。

岡山県内には、本種と形態、生活様式が酷似するヨドシロヘリハンミョウがあり、両者とも海岸地帯に分布が限られているが、ヨドシロヘリハンミョウが河口部のヨシ帯周辺の砂泥地にすんでいるのに対し、本種は岩礁地帯とその周囲の砂浜だけにすみ、見事に生息場所をすみ分けている。

そのうち、ヨドシロヘリハンミョウは三大河川河口部の開発や護岸工事などの影響を受け、絶滅の危機に瀕しており、一方の本種は、発見された自然海岸の特異な環境が狭隘で、生息環境の保全には注意が怠れない。「岡山県版レッドデータブック」で留意種に指定されている所以でもある。成虫、幼虫ともに生きた小動物のハンターであり、成虫は夏季に出現して、波打ち際の岩の上や裸地を飛びながら活動の場としている。

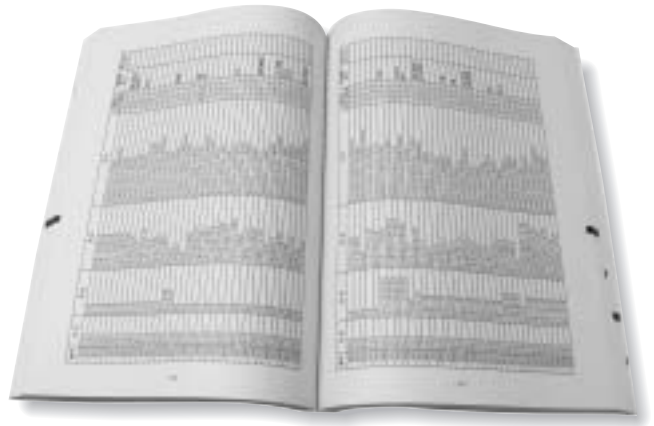
ベトナムから日本にかけて分布。分布圏の南北で軽微な亜種分化が起きている。

(青野孝昭)

## 「岡山県野生生物目録(2003)」一般販売開始のお知らせ

平成10年度より5カ年計画で取り組み、平成15年3月に発行した岡山県版レッドデータブックの基盤ともいえる「岡山県野生生物目録(2003)」が、一般販売の運びとなりました。

岡山県に生息(育)する野生生物(動物8,935種、植物3,138種)を網羅したリストだけにとどまらず、分布傾向や生息(育)環境についても言及しています。



### 目次

#### I 調査の概要

1. 調査体制
2. 調査経過
3. 調査対象

#### II 岡山県野生生物目録

1. 総括表
2. 目録の解説項目と内容
3. 掲載種リスト
  - ① 哺乳類
  - ② 鳥類
  - ③ 爬虫類
  - ④ 両生類
  - ⑤ 汽水・淡水魚類
  - ⑥ 昆虫類
  - ⑦ 昆虫類以外の無脊椎動物
  - ⑧ 維管束植物
  - ⑨ コケ植物



◆巻末に掲載リストのデータ閲覧が可能なCDが付属しています。

※データCDについて  
このCDは、Windows95以上、Mac OS 8.5.1以上の両方で動作するハイブリッド形式となっておりますので、いずれのユーザー様にも安心してお使いいただけます。



下記の方法で頒布販売しております  
A4サイズ・397ページ  
定価 4,000円(税込・送料別)

ファックス、Eメール、郵便で直接お申込みください

●ファックス番号/086-298-2617

●Eメール/rdb@kankyo.or.jp

●郵便の場合/〒701-0212 岡山市内尾665-1

(財)岡山県環境保全事業団

野生生物目録担当 宛

申込先 ●記載事項/郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望冊数

(必要な場合は見積書・請求書の要)

お支払いは同封の振込用紙にてお願いいたします。

## (財)岡山県環境保全事業団は、岡山県より 岡山県循環資源総合情報支援センターの 指定を受けました。

岡山県循環資源総合情報支援センターは、  
循環型社会を実現するための情報を提供します。

- 企業間における循環資源に関する情報の交換を促進すること
- 事業者及び県民への廃棄物等の発生の抑制並びに適正な循環資源の循環的な利用及び処分に資する情報の提供を行うこと
- 循環型社会の形成に関する事業者及び県民の意識の向上を図るために必要な情報の提供を行うこと

おかやまの環境に関する情報をご覧ください。



<http://kankyo.pref.okayama.jp/>



お問い合わせ先

**岡山県循環資源総合情報支援センター**  
〒701-0212 岡山市内尾665-1  
財団法人 岡山県環境保全事業団内 公益事業推進室  
TEL.086-298-1225 FAX.086-298-2496

## おかやま生きものシンポジウム

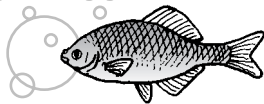
～生きものを支え、生きものに支えられる岡山をめざして～

**参加無料**

岡山市内で取り組まれているスイゲンゼニタナゴの保護事例などをケーススタディとして、市民、農業、研究機関、行政機関等がそれぞれの立場で地域の生物多様性の保全について共に考えるシンポジウムです。

開催日  
平成16年**6月19日(土) 13:00~17:00**

会場  
**オルガホール(岡山市幸違町1-7-7)**



●**基調講演**

「(仮)生きものを支える百姓仕事、生きものに支えられる農業」  
宇根 豊(NPO法人 農と自然の研究所・代表理事)

●**基調発表**

- (1)「様々な人々たちとの連携により取り組まれているスイゲンゼニタナゴの保護活動について」 萩原誠司(岡山市長)
- (2)「岡山県の生物多様性の現状」 赤井直泰(岡山県自然環境課)

●**野生生物保護に関する取り組み事例報告**

アユモドキ、ギフチョウ、湿生植物

●**パネルディスカッション**

コーディネーター 坂本圭児(岡山大学農学部助教授)  
パネラー 宇根 豊、農業土木関係者、上記発表者代表

◆主催/岡山の生物多様性の保全を考えるシンポジウム実行委員会  
<お申し込み・お問い合わせ先>岡山市環境調整課 TEL.086-803-1284

◆共催/岡山市、倉敷市、(財)岡山県環境保全事業団、スイゲンゼニタナゴ検討委員会、岡山の自然を守る会

発行日/平成16年4月30日

発行所/ 財団法人  
**岡山県環境保全事業団**  
〒701-0212 岡山市内尾665-1  
TEL.086-298-2122(代)  
FAX.086-298-2496  
<http://www.kankyo.or.jp>

くりをめざしたい。

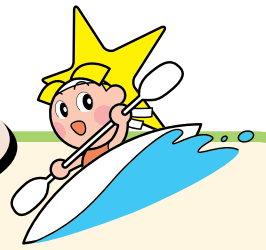
4月は花見で酒がのめるぞ：と、日本人は何かにつけて宴会好きである。宴会の席でいつも思うことがある。「残り物の多いこと。食べ物を残すな！」まずは排出抑制(ゴミを出さないこと)が大切であると、その心に決め、注がれた酒は必ず飲み干して店を出るのだが：。次からは注がれない努力が必要か。

さて、新年度がスタートし、事業団に公益事業推進室が新設された。「環境」の発行はここで言う。編集委員にも異動があり、読者代表だった私も委員の一人になった。環境をキーワードに、読みやすい誌面づくりをめざしたい。

**編集後記**

出かけよう! 国体会場周辺の自然を楽しみましょう!

# ふいで通信



野鳥の森で野鳥観察。

いよいよ来年、2005年(平成17年)に「晴れの国おかやま国体」が開催されます。9月の夏季大会、10月の秋季大会を中心に、県内全域でさまざまな競技やスポーツ行事等の開催が予定されており、国体への気運もだんだん高まってきています。ふいで通信では、県内全域に広がる国体会場の中から、会場周辺地域にある自然を楽しみながら散策できる場所や施設をご紹介します。今回は、カヌー、グラウンド・ゴルフ、スポーツ芸術の会場となっている建部町から、「たけべの森」をご紹介します。

## 建部町

# 吉備高原建部家族旅行村「たけべの森」

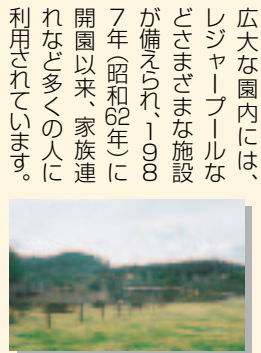
お問い合わせ  
岡山県建部町建部町地子1-571-40  
吉備高原建部観光株式会社  
0860722311

豊かな自然を活かしてつくられたたけべの森には、年間を通じて約50種の野鳥が飛来・生息しています。園の東側には「野鳥の森」が広がり、散策道や野鳥観察小屋が整備されていますが、もっと多くの方に気軽に楽しんでもらうと、園の中心部近くに「バードラリー」コースが設けられています。バードラリーは、散策を楽しむながら野鳥観察に関心が持てる新しい体



観察ポイントの近くの木の枝に止まっている鳥の模型(バードカービング)。

散策しながら野鳥観察が体験できる「バードラリー」コース。



バタールゴルフなども楽しめる芝生広場。

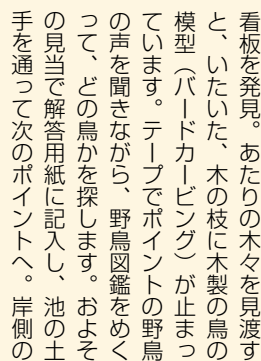
国道53号沿いのカヌー会場となっている旭川から車で約10分。吉備高原の中央部、標高約250mの山間部に広い芝生広場が目の前に開け、レクリエーションゾーン「たけべの森」に到着です。10haにおよぶ広大な園内には、レジャープールなどさまざまな施設が備えられ、1987年(昭和62年)に開園以来、家族連れなど多くの人に利用されています。

験ゲーム。さっそく挑戦してみました。サービスセンターで渡された双眼鏡、テーブルコーナー、野鳥図鑑、マップ等を持っていざ出発。池の方へ下りると、すぐに第1ポイントの看板を発見。あたりの木々を見渡すと、いたいた、木の枝に木製の鳥の模型(バードカービング)が止まっています。テーブルポイントの野鳥の声を聞きながら、野鳥図鑑をめくって、どの鳥かを探します。およその見当で解答用紙に記入し、池の土手を通って次のポイントへ。岸側の松の木の幹に少し大きめの鳥を発見。第3ポイントは池の側に降りた所。高い木の枝に青い鳥の模型を見つけた。檜林、湿生植物園とバードラリーを進めるうち、いつの間にか散策道を

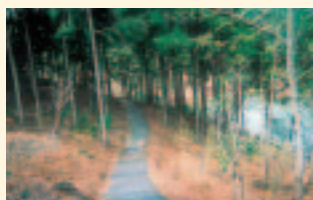


池の北側の林に大きめの鳥がいました。

どんどん歩いてしまします。さらに奥へ、第6ポイント、第7ポイントと進み、キャンプ場の中を通って最後の第8ポイントへ。



コースをのんびり一周して約1時間半。器材を返却して採点です。図鑑とテープがあっても、鳥の姿と名前はなかなか一致しませんでした。野鳥観察の楽しさに触れることができました。



檜林の中を通るバードラリーコース。



園内では約1カ月間にわたり、いろいろな桜が咲き続けます。シーズンにはさまざまなイベントが開かれます。



美しいアジサイロード。フォトコンテストも開催されます。

春は桜にツツジ、初夏はアジサイ、季節の花を満喫できるたけべの森。たけべの森は、花が美しいことで有名です。3月下旬から4月下旬頃まで、約100種、1万5,000本の桜が咲き誇ります。芝生広場の南側の傾斜にある「しだれ桜の小径」は、約1.5kmにわたり枝垂桜が植えられており、シーズンには見事な桜のトンネルが楽しめます。4月中旬から5月中旬は、約2,000本のツツジが開花。6月中旬から7月初旬には、3.5kmの入口沿道に約3,500本のアジサイが色とりどりに咲き、美しいアジサイロ



- 休園日 毎週月曜日(冬期間は毎週月・火曜日休園)、年末年始。  
※ 春休み、ゴールデンウィーク、夏休み期間中は無休
- 営業時間 <通常>午前10時～午後5時 <夏期>午前9時～午後6時(7/20～8/31)
- 入園料: 大人……………310円 小人(4歳以上・中学生以下)……………210円
- バードラリー……………500円



ードとなります。そして、秋は紅葉。山々が鮮やかに染まります。季節感を満喫することができるたけべの森でいろいろな自然に出会ってみたいいかがでしょうか。